

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(4)-ア	離島と本島・県外との交流の促進	施 策	①離島の多様な魅力の発信
			施策の小項目名	○離島の多様で特色ある魅力の発信の強化
主な取組	離島観光活性化促進事業（主要離島観光協会によるプロモーションの実施）		対応する成果指標	本島及び離島から離島への派遣やオンラインで交流する児童数（累計）
施策の方向	・ 離島の多様で特色ある魅力の発信を強化し、交流人口の拡大、県外の沖縄ファンや沖縄観光リピーター等の関係人口の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
八重山、宮古、久米島観光協会等が主体となった、地域プロモーションを実施する。	県	主要離島観光協会によるプロモーションの実施		
		プロモーション実施数(累計)		
		宮古5件、八重山5件、久米島5件	宮古5件(10件)、八重山5件(10件)、久米島5件(10件)	宮古5件(15件)、八重山5件(15件)、久米島5件(15件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況			
予算事業名	離島観光活性化促進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 (ソフト)	委託	122, 637	117, 431
令和5年度活動内容			
各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施する。			

(単位：千円)		
予算事業名	離島観光活性化促進事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	102, 888
令和6年度活動計画		
各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施する。		

活動指標名	プロモーション実施数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	18件	20件	宮古 5 件	100. 0%	順調	【test】各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施。メディアプロモーションや展示会への出展等積極的に行った。
活動指標名	プロモーション実施数（累計）		R5年度				
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	14件	10件	八重山 5 件	100. 0%		
活動指標名	プロモーション実施数（累計）		R5年度				
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	6件	6件	久米島 5 件	100. 0%		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
各圏域ごとに、メディアプロモーションや展示会への出展等を積極的に行ったため、目標値を達成した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○各圏域ごとの課題や解決策について共有を行いながら、関係機関等と連携し、高付加価値コンテンツの掘り起こしや各離島の受入体制状況に配慮した誘客プロモーションについて検討を行う。	各圏域ごとに、県外展示会への出展と合わせ、メディアやSNS等を活用した各種プロモーション及び海外向けプロモーションを実施し、誘客促進を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	各地域の特色あるコンテンツの掘り起こしや各関係機関との連携を図る必要がある。また、インバウンド需要が回復する中、多言語対応等の受入体制の整備についても検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	各圏域ごとの課題や解決策について共有を行いながら、関係機関等と連携し、高付加価値コンテンツの掘り起こしや各離島の受入体制状況に配慮した誘客プロモーションについて検討を行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(4)-ア	離島と本島・県外との交流の促進	施 策	①離島の多様な魅力の発信
			施策の小項目名	○離島の多様で特色ある魅力の発信の強化
主な取組	離島観光活性化促進事業（各種プロモーションの実施）		対応する成果指標	本島及び離島から離島への派遣やオンラインで交流する児童数（累計）
施策の方向	・ 離島の多様で特色ある魅力の発信を強化し、交流人口の拡大、県外の沖縄ファンや沖縄観光リピーター等の関係人口の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島の認知度を向上させ、離島への観光客誘客を図るため、航空会社連携プロモーションや県外での旅行博への出展、メディアを活用したプロモーションを実施する。	県	各種プロモーションの実施		
		沖縄離島専門の観光情報サイト「リトハク」のPV数(累計)		
		700,000PV	730,000PV(1,430,000PV)	760,000PV(2,190,000PV)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	離島観光活性化促進事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	122, 637	117, 431	
令和5年度活動内容				
航空会社連携プロモーションや県外での旅行博への出展、メディア等を活用したプロモーションを実施した。				

(単位：千円)

予算事業名	離島観光活性化促進事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	102, 888	
令和6年度活動計画			
航空会社連携プロモーションや県外での旅行博への出展、メディア等を活用したプロモーションを実施する。			

活動指標名	沖縄離島専門の観光情報サイト「リトハク」のPV数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-PV	365, 377PV	3, 508, 879PV	730, 000PV (1, 430, 000PV)	100. 0%	順調	各圏域ごとに、展示会への出展及びメディアやSNS等を活用した各種プロモーションを実施。メディアプロモーションや展示会への出展等を積極的に行った。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
航空会社連携プロモーションや県外での旅行博への出展、沖縄離島観光WEBサイト「沖縄しまさんぽ（令和4年度よりリトハクから名称変更）及び「沖縄しまさんぽ」Instagramにおいて、島ごとの特集ページやテーマ別記事の作成、広告配信等を実施し、WEBサイトのPV数及びInstagramのインプレッション数は350万以上となっており、目標値を達成した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○各離島ごとの特色を生かせるよう、テーマ性をもった事業展開を行い、各離島の限りある資源を活用した高付加価値コンテンツの掘り起こしや受入体制状況に配慮した誘客プロモーションを展開する。	航空会社連携プロモーションについては、3キャリア（ANA、JTA、SKYマーク）で実施。各Web媒体による離島旅行ページへの誘導や、旅行需要を喚起する特設ページへ遷移させる広告配信等を実施し、送客数増に向けたプロモーションを行った。 また、WEBサイトとInstagramを活用した情報発信やイベントへの出店等各種プロモーションを行い、本島15周辺離島それぞれの特色に合わせたプロモーションを実施した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	各種プロモーションを実施しているが、本島周辺15離島のさらなる認知度向上を図ることが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	各離島ごとの特色を生かせるよう、テーマ性をもった事業展開を行い、各離島の限りある資源を活用した高付加価値コンテンツの掘り起こしや受入体制状況に配慮した誘客プロモーションを展開する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(4)-ア	離島と本島・県外との交流の促進	施 策	②離島訪問の促進
			施策の小項目名	○離島への周遊観光の促進
主な取組	離島観光活性化促進事業（国内線チャーター便支援）		対応する成果指標	離島地域への入域観光客数
施策の方向	・オンライン体験プログラムの造成や、デジタル媒体を活用し住民自ら離島の魅力を発信するスキルの向上を支援することにより、直接足を運ばなくても離島の魅力を享受できる環境の構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県外空港から県内離島空港に到着するチャーター便を利用する旅行会社等に対して支援を実施する。	県	国内線チャーター便支援		
		チャーター便支援便数(累計)		
		20便	20便(40便)	20便(60便)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

離島観光活性化促進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

122, 637

117, 431

令和5年度活動内容

県外空港から県内離島空港に到着するチャーター便を利用する旅行会社等に対して支援を実施した。

予算事業名

離島観光活性化促進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

102, 888

令和6年度活動計画

県外空港から県内離島空港に到着するチャーター便を利用する旅行会社等に対して支援を実施する。

活動指標名

チャーター便支援便数（累計）

R5年度

実績値

目標値

達成割合

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

離島への交通アクセスを拡充し、県外から沖縄県内離島への観光客のさらなる誘客をはかることを目的に、離島航空路線のプログラムチャーター化または定期便化に向けた取組を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

R5年度は20件の申請があり、上限額に達したため受付終了となった。催行人数に達しなかったなどの理由により、1件が辞退となったため、支援件数は19件となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 定期便化・プログラムチャーター化に繋げるため、航空会社や旅行会社へのセールス活動等を継続していく。
また、各離島地域や関係機関等と連携し、本事業のさらなる周知を実施する。

R5年度は年度当初より支援に対する問い合わせは多く、出発利用空港が山形から佐賀まで計11出発地となっており、国内の様々な空港を出発するチャーター便に対して支援を実施することが出来た。
当事業については、引き続き需要が高いと考えており、チャーター運航実績のある航空会社を中心に定期便誘致を働き掛けていきたいと考えている。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	定期便化誘致に向けた取り組みをより一層推進していく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	定期便化・プログラムチャーター化に繋げるため、航空会社や旅行会社へのセールス活動等を継続していく。 また、各離島地域や関係機関等と連携し、本事業のさらなる周知を実施する。